

[illegible]

実施目標	実施目標	NO.	達成目標	測定指標	測定指標の実績値（計画期間分）	実施目標の注典	達成手段	達成手段が達成目標の達成にどのように貢献するか	
8. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化				①情報科学技術分野における研究開発の論文数、学会発表数(単年度)（事業における成果に基づく）（目標値：1050件（2024年度））	①707件（令和5年度）、872件（令和4年度）、650件（令和3年度）	文部科学省調べ			
				②情報科学技術分野における研究開発に基づく特許数（累計値）（事業における成果に基づく）（目標値：156件（2024年度））	②134件（令和5年度）、105件（令和4年度）、76件（令和3年度）	文部科学省調べ			
				③統計スキースポート人材育成プロジェクトの研修生数（目標値：13名（2024年度））	③14人（令和5年度）、13人（令和4年度）、12人（令和3年度）	文部科学省調べ			
8-3-1			ビッグデータ等の多様なデータの収集や分析が容易となる中で進む研究活動のDX（研究DX）の流れと、これに伴う研究データの公開・共有を含めたオープンサイエンスの進展に向けて、AI等の革新的な基盤技術の研究開発を進める等最先端科学技術の強化を図るとともに、中長期的視野からデータ駆動型研究の推進に必要となる整備とし、研究データの管理・活用や専門人材の育成等の環境の整備を行う。これらの基盤的環境整備を実施することにより、研究の国際的な発展と世界に先駆けたイノベーションの創出、研究の効率化による社会価値の向上を実現する。	④研究開発が社会実装されたことによる経済的・社会的インパクト（事業における成果に基づく）（目標：研究成果が複数の応用領域で活用される。／様々な研究開発が社会実装されることにより、社会的価値が解決される。（2025年度）※定量的な指標のため、定量的目標値は設定が困難である。）	④流通・高機能の大型機電装シミュレーション技術を開発し、南部トラフ地域の地盤変動解析に応用した。また、大規模ゲノムコホートの遺伝子解析解明によって、脳機能発達の機能的なゲノムリスク予測を可能にする手法及び少量少数のゲノム解析結果を効率よく解析するAIシステムを開発するなど社会課題の解決に貢献するAI技術の研究が進められた。／医療データ等の既存データベースをPLRに取り込む基盤研究開発を実施し、データを提供する個人の要望に対応するため、データ提供に高度同意する方法と、事前に包括同意をし、具体的な利用内容を定める必要時の同意確認する方法を選択する仕組みを構築し実証評価を実施した。測定データに基づく高齢者・妊産婦、学生向けのインタクショナルサービスに関する研究開発を完了。社会実装の実現に向け協働・他大学との連携を進めた。（令和5年度）	文部科学省調べ	・国立研究開発法人科学技術振興機構連携費交付金に必要な経費（レビュー番号：2023-文科-22-0205）【7-1】再掲 ・AIP:人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト（次世代人工知能技術等研究開発拠点形成事業費補助金）（予算事業ID：001666） ・Society5.0高度化研究開発点支援事業（予算事業ID：001667） ・統計スキースポート人材育成プロジェクト（予算事業ID：001667） ・AI席の活用を促進する研究データエコシステム構築事業（予算事業ID：007616） ・生成AIモデルの透明性・信頼性の確保に向けた研究開発拠点形成（予算事業ID：005695）	次世代人工知能技術等研究開発拠点形成事業費補助金によりAI席の革新的な基盤技術の開発を可能とし、Society5.0高度化研究開発点支援事業を通じて社会実装を実現し、情報科学技術の発展を促す。また、統計スキースポート人材育成プロジェクトを通じて専門人材育成のための継続的研修及びAI席の活用を促進する研究データエコシステム構築事業による研究データの管理・活用の環境整備を行い、データ駆動型の推進に必要な基盤（NRI-RDC）を整備する。	
	8-3. オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進			⑤機関リポジトリを有するすべての国立大学・大学共同利用機関法人、国立研究開発法人のデータポリシー策定率（目標値：100%（2025年度））	⑤47.3%（令和5年度）、37.7%（令和4年度）、42.1%（令和3年度）				
				⑥学術機関リポジトリ（RORID）に登録された学術論文数（目標値：640,000件（2024年度））	⑥623,405（令和5年度）、601,459件（令和4年度）、576,262件（令和3年度）				
			⑦先期研究設備プラットフォームを構築する機関におけるAIプラットフォームありのソフトウェアサービスを利用した相談件数【新経済・財政再生計画 改正工程表2023「12、大型研究施設の整備及び数大規模の産学官共有を図る」に関連】（目標値：151（令和6年度））	⑦3151件（令和5年度）、75件（令和4年度）、20件（令和3年度）※令和2年度は実績値なし	文部科学省調べ				
8-3-2			⑧コアファンクティを構築する機関における利用機数【新経済・財政再生計画 改正工程表2023「12、大型研究施設の整備及び数大規模の産学官共有を図る」に関連】（目標値：4,780（令和6年度））	⑧4,779件（令和5年度）、4,230件（令和4年度）、3,754件（令和3年度）、1,259件（令和2年度）	文部科学省調べ				
			⑨Spring8の共用部分に関連した研究の発表論文数【新経済・財政再生計画 改正工程表2023「12、大型研究施設の整備及び数大規模の産学官共有を図る」に関連】（目標値：1,000件（2024年度））	⑨3,000件（令和5年度）、3,794件（令和4年度）、1,650件（令和3年度）	公益財団法人高輝度光科学研究センター提供資料	・国立研究開発法人理化学研究所連携費交付金に必要な経費（予算事業ID：001614）【7-1】再掲 ・先期研究基盤共用促進事業（予算事業ID：001654） ・大型放射光施設（SPring-8）及びS線自由電子レーザー施設（SACLA）の整備・利用（予算事業ID：001655） ・大規模電子加速施設（J-UPARC）の整備・利用（予算事業ID：001656） ・最先端放射光施設（SPring-8）の整備・利用（予算事業ID：001657） ・各種研究開発費（予算事業ID：001660）	Spring-8/SACLAR（J-UPARC）について必要な運転機種の確保及び利用環境の形成に努めるとともに、NanoTerasaの整備を進展に促めることにより、施設を学際・産業界の広範な分野の研究開発等の利便に供することが可能となり、達成目標である研究成果の一端の創出・質的向上に貢献する。		
			⑩J-PARCの内、MLFに関連した研究の発表論文数【新経済・財政再生計画 改正工程表2023「12、大型研究施設の整備及び数大規模の産学官共有を図る」に関連】（目標値：185件（2024年度））	⑩187件（令和5年度）、182件（令和4年度）、225件（令和3年度）	J-PARCセンター提供資料				
8-3-3			⑪NanoTerasaの共用部分に関連した研究の発表論文数（目標値：-）※目標値の記載については、調査年度数が未定であり、かつ運用初期であることも踏まえ、目標値を現時点で設定することは困難	⑪令和3年3月からの利用開始のため、現時点での実績値なし	公益財団法人高輝度光科学研究センター提供資料				
			⑫HPCIを利用した研究の論文発表数（目標値：250件（2024年度））	⑫334件（令和4年度）、323件（令和3年度）令和5年度は算定中	【出典】HPCI成果発表データベース ※データベースに登録されている成果発表件数は、随時更新されるため、記載している件数と一致しない場合がある。	革新的ハイパフォーマンスタ・コンピューティング・インフラ（HPCI）の構築（予算事業ID:001658）	令和3年3月に利用開始した世界最高水準のスパコン「富岳」を中核に運用しつつ、国内の大学等のスパコンを高速ネットワークでつなぐ、利用者のアクセスによりより多くのスパコンストレージを利用できるようするなど、多様なユーザーにも使える環境を構築し、全国ユーザーの利便に供することで、我が国の科学の発展、産業競争力の強化、安全・安心な社会の構築に資する成果創出に貢献する。		
			⑬富岳系を利用した研究の論文発表数（⑫の内訳）（目標値：170件（2024年度））	⑬300件（令和4年度）、118件（令和3年度）令和5年度は算定中	※データベースに登録されている成果発表件数は、随時更新されるため、記載している件数と一致しない場合がある。				
8-4. 世界レベルの研究基盤を構築するための仕組みの実現			⑭国際卓越研究大学の選定など、大学ファンドによる支援開始に向けた進捗状況（大学等との丁寧な対話をふまえて、令和5年度中に認定候補校を発表する）	⑭（令和4年度）12月に大学ファンドの支援対象となる国際卓越研究大学の公募を開始。3月末に公募締め切り、10大学の申請を受け付けた。（令和5年度）4月より、国内外の有識者で構成される有識者会議による審査を開始し、8月の有識者会議において、初回公募に向けた進捗状況（大学等との丁寧な対話をふまえて、令和5年度中に認定候補校を発表する）	https://www.mext.go.jp/in/ku_menu/houdou/mext_0178.html		・世界レベルの研究基盤を構築するための仕組みの実現 ・大学研究力強化推進事業（予算事業ID：001915 レビュー番号：2023-文科-22-0011）	大学等の研究力強化に関する革新的な政策の立案・実施や、大学ファンドによる大学の研究環境の整備などを通じて、大学の研究力強化に向けた政策的・制度的な後援を促進する。	
			⑮大学ファンドの運用による国際卓越研究大学への支援の状況（目標値：研究等体制強化計画を認可した大学のうち、進捗率を行った大学が100%。ただし、暫定的では認可前であり令和6年度中の支援開始を目標としている）	大学ファンドの運用による支援を受けける国際卓越研究大学の認定・認可に向け審査中であり、支援開始は令和6年度中を目指しているため、現時点で実績値なし。	https://www.mext.go.jp/in/ku_menu/houdou/mext_0178.html				
			⑯国際卓越研究大学の認定後、各大学が認定した研究力などの目標の達成状況や大学独自の基金の造成状況、継続的な事業成長の状況等を測定指標として設定する。	次回公募は、大学ファンドの運用状況等を勘案し、令和6年度中の開始を予定しているため、現時点で実績なし。	https://www.mext.go.jp/in/ku_menu/houdou/mext_0178.html				
9-1. 未来社会を築いた先進基盤技術の強化			①マテリアル先導リサーチインフラの利用態による査読付き論文数（目標値：800件（令和12年度））	①R3：749件、R4：692件、R5：累計中	文部科学省調べ				
			②マテリアル先導リサーチインフラにおけるデータ利用件数（目標値：※令和7年度より本格実施のため）	②R3：-、R4：-、R5：- ※令和7年度より本格実施のため	文部科学省調べ				
			③データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクトを創出した査読付き論文の活用件数（目標値：10,750件（令和12年度））	③R4：29件、R5：404件	文部科学省調べ マテリアル先導リサーチインフラ（予算事業ID:001671） データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト（予算事業ID:001672）	・材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業（予算事業ID:001670） ・マテリアル先導リサーチインフラ（予算事業ID:001671） ・データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト（予算事業ID:001672）	マテリアル先導リサーチインフラによって、先端設備の全国的な共有体制を整備し、幅広いユーザーが先端設備を利用可能な研究開発環境を構築するとともに、先端設備から創出されるマテリアルデータや知見・知能、国内の研究者で共有する仕組みを構築する。加えて、データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクトによって、マテリアル分野における革新的なデータ駆動型研究開発手法を開発し、全国に普及する。また、材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業によって、産学官が連携した体制を構築する。これらによって、我が国のマテリアル分野の研究開発を強化するとともに研究人材の育成を図り、革新的な材料の創製を加速させ社会発展につなげる。		
			④材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業の成果を利用した社会実装に向けた研究・開発・調査・開発（令和7年度）	④R5：4件 ※令和5年度より測定指標の実績値を収集	文部科学省調べ（各実施課題が把握する件数に異なる。）				
			⑤「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑤研究開発の創出状況（関連事業を通じた研究開発の論文等掲載数を指標とする）（目標値：1,200件（令和6年度））	⑤1,185件（令和5年度）、1,285件（令和4年度）、1,273件（令和3年度）	⑤計測・Q-LEAPにより創出された論文 ⑤量子科学技術研究開発機構集計	・光・量子利用フラッグシッププログラム（Q-LEAP）（予算事業ID:001661） ・国立研究開発法人理化学研究所連携費交付金に必要な経費（予算事業ID：001614）【7-1再掲】 ・国立研究開発法人理化学研究所施設整備に必要な経費（予算事業ID：001615）【7-1再掲】 ・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構連携費交付金に必要な経費（予算事業ID：001672） ・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構施設整備に必要な経費（予算事業ID：001673） 事業前分析第1号から後掲	量子科学技術（光・量子技術）を駆使して、重要課題の非破壊的計測（Quantum leap）を推進する研究開発プログラムである光・量子利用フラッグシッププログラム（Q-LEAP）や量子科学技術に関する研究開発法人である量子科学技術研究開発機構の活用を通じて、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	
			⑥「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑥研究開発の創出状況（関連事業を通じた研究開発の論文等掲載数を指標とする）（目標値：1,200件（令和6年度））	⑥計測・Q-LEAPにより創出された論文 ⑥量子科学技術研究開発機構集計				
			⑦「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑦「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑦「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。				
			⑧「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑧「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑧「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。				
			⑨「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑨「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑨「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。				
			⑩「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑩「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑩「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。				
			⑪「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑪「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑪「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。				
			⑫「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑫「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。	⑫「量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日決定）」等の政府戦略に基づき、量子コンピュータ、量子計測・センシング等の量子技術の基盤・基盤的な研究や産業・社会での利活用の促進等に関する研究開発を推進することにより、量子技術に関する研究開発成果を創出する。				

研究項目	実施日程	KPI	達成目標	測定指標	測定期間の取組内容（当該研究分野）	事業の実績	達成手段	達成手段が達成目標の達成にどのように貢献するか
9-1、環境・エネルギーに関する課題への対応		9-2-1	気候変動等の地球規模課題解決に貢献する全球地球観測システム(GEOSS)の構築に向け、衛星等による地球観測データと地上での研究機関等に集積することを通じて、我が国の地球観測に関する国際的なプレゼンスを向上させる。	①陸域観測技術衛星「たけふさぐ」(ALOS-2)観測データの高精細化への取組（目標値：12,600シーン（2022年度）、過去3年間の平均値と比較） ②宇宙航空研究開発機構衛星「いぶき」(GOSAT)及び「いぶき2号」(GOSAT-2)の観測データの高精細化への取組（衛星機載による成果の一として参考にする。）（目標値（GOSAT-2）：15,510シーン（2022年度）過去3年間の法政観測の平均値（目標値（GOSAT-29）：829,195シーン（2022年度）過去3年間の法政観測の平均値） ③GEO本部会やアジアオセア地域GEOシンポジウム等における日本人等の登壇回数（A）（目標値：13（RT））	①11,732シーン（2017年度）、12,639シーン（2018年度）、13,698シーン（2019年度）、12,317シーン（2020年度）、11,786シーン（2021年度） ④（GOSAT-2）2,484,810シーン（2017年度）、1,154,884シーン（2018年度）、14,234,370シーン（2019年度）、15,949,197シーン（2020年度）、16,366,677シーン（2021年度） ⑤（GOSAT-29）31,129シーン（2018年度）、366,861（2019年度）、945,752シーン（2020年度）1,474,972シーン（2021年度）	AxA調べ AxA調べ	- 火山機動観測衛星研究事業（レビュー番号：2023-文科-22-0287） - 地球観測衛星システムの開発に必要な経費（2023-文科-22-4278） - 地球観測に関する政府間合意（GEO）（予算案ID：001681） - 陸域観測技術研究所の整備（レビュー番号：2023-001682） - 施設整備・運営費補助の申請・活用（レビュー番号：2023-文科-22-0278）	◎全球地球観測システム（GEOSS）を通じて、分野・領域横断的なデータへのアクセス及び幅広いユースに対して需要等による地球観測データを提供し、もってGEOのメンバー国及び参加機関等ははもとより多様なステークホルダーやコミュニティが行う地球観測を通じた地球規模課題解決への対応を支援する。
			気候変動メカニズムの解明や気候変動対策に資する気候変動データの統合・活用を促進し、国際的な気候変動研究コミュニティにおける我が国のプレゼンスの向上を行う。地球観測データ、気候予測データの地球規模ビッグデータを蓄積・統合・解析・提供するデータベース構築・解析システム（DIAS）の開発並行して国際連携を推進し、国内だけでなく世界的な気候変動政策へ貢献する。	①気候変動予測研究プログラムの成果を活用した国際共同研究等の累計海外連携実績（目標値：340（RT）） ②地球観測データベース統合・解析プラットフォーム（D-I-A-S）の利用回数（A）（目標値：14,000（RT））	94（2022年度） 28,774（2021年度）、11,615（2022年度）、13,687（2023年度）	文部科学省調べ 文部科学省調べ	気候変動適応戦略（ニアアップ）（予算案ID：001677）	◎気候変動、防災等の地球規模課題の解明に資するため、海外連携を通じた気候変動予測研究、及び我が国が実施する地球観測データや気候予測データを統合解析し科学的発見を促すための研究開発やデータ利用の促進を一貫的に行う。
			カーボンニュートラルの実現のために大学等の研究開発を推進し、世界の最先端にはない新しい発想に基づいた高度な最先端技術の開発を推進し、高度化産業ガスの削減と経済成長の両立に貢献する。	①温室効果ガス排出削減に向けた研究開発による論文発表数（目標値：1133（RT）） ②温室効果ガス排出削減に向けた研究開発による特許出願件数（件）（目標値：66（RT））	③R3年度：28件、R4年度：150件、R5年度：464件 ④R3年度：（11件）、R3年度後：（42件）、R4年度（58件）、R2年度（71件）、R3年度：2、R4年度：15、R5年度：87 ※発表した令和2年度までの実績数は、前身プログラムである「高エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発（平成29～令和初年度）」の事業内容を継承するとし記載。 ⑤R3年度：12、R4年度：15、R5年度：18 ※「大学の力を結集した、地域の活性化に資するための基礎的研究開発」の取組件数を参考値として記述。	文部科学省JST調べ 文部科学省JST調べ	- 革新的なバーレーンネットワーク創出基盤技術研究開発事業（予算案ID：001684） - 大学の力を結集した、地域の活性化に資するための基礎的研究開発（予算案ID：001685） - 近世K-Mn系半導体生体分子触媒事業（予算案ID：001918） - 国立研究開発法人科学技術振興機構投資交付金に必要な経費（予算案ID：001812） - 国立研究開発法人科学技術振興機構投資交付金に必要な経費（予算案ID：001613） - 国立研究開発法人大学学術研究推進委員会に必要な経費（予算案ID：001614） - 国立研究開発法人大学学術研究推進委員会に必要な経費（予算案ID：001615） - 革新的GX技術振興事業（GmX）（予算案ID：006811）	◎カーボンニュートラル実現やデジタル社会の実現に貢献するため、省エネ・高性能な半導体機能創出の創生に向けた、新たな切り口による研究開発と付帯の半導体機能等を牽引する人材育成を進めるとともに、アカデミアにおける中核的な拠点形成を促進する。 ◎「大学の力を結集した、地域の活性化に資するための基礎的研究開発」を通じて、高度化産業ガスの削減のための排出削減に向けた政策決定から必要となる科学的知見を創出する。 ◎カーボンニュートラル社会やデジタル社会の実現に貢献するため、超伝導・高性能パワーエレクトロニクス機器の創出のため一体的な研究開発を推進する。 ◎2050年カーボンニュートラル実現の進捗や将来展望の創出に向けて、日本のアカデミアの将来的な発展に貢献できる領域として「電算」「水素」「バイオものづくり」を設定し、日本のアカデミアにおける基礎研究力の高いポテンシャルを蓄積を最大限活用し、大学等のトップレベルの研究家によるオープンサイエンスの協力的な「チーム型」でIT研究開発を推進する。
			自治体において、地場特色を活かした製造業の発展のための科学研究拠点を創出し、顕微鏡することで、地域におけるカーボンニュートラルへの取組を加速することに貢献する。	①ITER建設に必要な機器の製作等を通して、ITER研究の重要な進展への寄与度。（目標値：90点） ②産学連携における様々な研究開発成果を通じて、フュージョンエネルギーの実現に向けた社会の理解と支那との協働関係 ③産学の工学設計に向けた共通した理解の獲得 ④フュージョンエネルギー実用に向けた社会の理解と支那との協働関係 ⑤③④は定性的な指標のため、定量的目標値は設定が困難である。	⑥R2年度：97.5点、R3年度：92.1点、R4年度：93.6点、R5年度：92.0点 ⑦R2年度：89.7点、R3年度：87.2点、R4年度：80.7点、R5年度：83.0点 ⑧令和5年第4回に策定した「フュージョンエネルギーイノベーション戦略」に基づき、得意な分野に向けた社会的認知を加速するため、アカデミアや民間企業を統括して技術開発を実施する体制を整備するとともに、民間企業のさらなる参画を促すための仕組みを導入した。 ⑨「フュージョンエネルギーイノベーション戦略」を踏まえ、アクトリーチードクターへの体制を強化し、アクトリーチー活動の充実を図ることとした。	出典：国際熱核融合実験炉の研究計画の進展に必要な経費ISシステム予算案ID001685 出典：幅広いアプローチ（BA）活動の推進に必要な経費ISシステム予算案ID001686 フュージョンエネルギーイノベーション戦略 フュージョンエネルギーイノベーション戦略		◎国際協力に基づき、産学官連携の推進、連携を行うITER研究、ITER研究支援を企画・実施するとともに原型炉に向けた先進的研究開発を含み内で行う幅広いアプローチ（BA）活動を牽引して、フュージョンエネルギーの科学・技術的発展の確立を目指す。また、打ち込み加熱装置を開発する等国際共同研究の促進にも取り組む。フュージョンの加速、さらには我が国の総合競争力への働きを加速し、関連産業の成長により国際競争力の維持・向上に取り組む。
9-2、健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応		9-2-2	医療現場のニーズに応える医薬品の実用化を促進し、モダリティの性能や性質を考慮した研究開発を行う。AI・IoT技術、画像処理、ロボティクス技術等の協力的な活用、診断・治療の高度化や、予防・QOL向上に資する医療機器・ヘルスケアに関する研究開発を行っている。	①化合物候補件数（薬種）（目標値：439件（2023年度）） ②新規薬品又はより新たな新薬シーズが見つかった件数。薬理的効果確認の完了後に付与される件数（目標値：75件（創薬サイズ件数、2023年度）、3件（革新的低分子量候補件数、2023年度）） ③企業へ提出される段階を目指す研究課題数（目標値：R4年度：96件、R5年度：126件、R6年度：111件 ※「企業へ提出される段階」とは、企業とbinding（法的拘束力のある）契約を結んだ段階を示す ④企業へ提出される段階に至った研究課題数（薬種）（目標値：104（2024年度）） ⑤「企業へ提出される段階」とは、企業とbinding（法的拘束力のある）契約を結んだ段階を示す	⑧R3年度：917件、R4年度：269件、R5年度：333件 ※R4年度から新薬薬品を開始したため、変更額がリセットしている。 ⑨（革新的低分子量候補件数）R3年度：3件、R4年度：5件、R5年度：3件 ⑩企業へ提出される段階を目指す研究課題数（目標値：R4年度：96件、R5年度：126件、R6年度：111件 ※「企業へ提出される段階」とは、企業とbinding（法的拘束力のある）契約を結んだ段階を示す ⑪企業へ提出される段階に至った研究課題数（薬種）（目標値：104（2024年度）） ⑫「企業へ提出される段階」とは、企業とbinding（法的拘束力のある）契約を結んだ段階を示す	AMED調べ AMED調べ	- 生命科学・創薬研究支援基盤事業（予算案ID：006839） - 先端医療イノベーション推進基金助成事業（予算案ID：006842） - 次世代がん医療高度化研究事業（予算案ID：006841） - 医療機器研究推進事業（予算案ID：006842） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	生命科学・創薬研究支援基盤事業、次世代がん医療高度化研究事業、先端医療イノベーション推進基金助成事業等を通じて、医療のニーズに応える医薬品の実用化を促進するため、モダリティの性能や性質を考慮した研究開発を行う。AI・IoT技術、画像処理、ロボティクス技術等を協力的に活用し、診断・治療の高度化や、予防・QOL向上に資する医療機器・ヘルスケアに関する研究開発を行う。
			脳神経、免疫・遺伝子治療実用化加速プログラム等を通じて、再生・細胞医療の実用化に向け、組織培養・分化誘導等に関する基礎研究、疾患・臓器別のIP生成能力を活用した臓器の複製解析、創薬研究及び必要な基礎機能を有する、再生・細胞医療の実用化を実現する。また、遺伝子治療や遺伝子編集技術に関する研究開発を推進し、これらの可能性のある研究開発につなげる。	①企業へ提出される段階を目指す研究課題数（目標値：R4年度：96件、R5年度：126件、R6年度：111件 ※「企業へ提出される段階」とは、企業とbinding（法的拘束力のある）契約を結んだ段階を示す ②企業へ提出される段階に至った研究課題数（薬種）（目標値：104（2024年度）） ③「企業へ提出される段階」とは、企業とbinding（法的拘束力のある）契約を結んだ段階を示す	⑧R3年度：110件、R4年度：917件、R5年度：127件 ⑨R3年度：12件、R4年度：38件、R5年度：50件（累計）	AMED調べ AMED調べ	- 再生・細胞医療・遺伝子治療実用化加速プログラム（予算案ID：006837） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	再生・細胞医療・遺伝子治療実用化加速プログラム等を通じて、再生・細胞医療の実用化に向け、組織培養・分化誘導等に関する基礎研究、疾患・臓器別のIP生成能力を活用した臓器の複製解析、創薬研究及び必要な基礎機能を有する、再生・細胞医療の実用化を実現する。また、遺伝子治療や遺伝子編集技術に関する研究開発を行う。さらに、これらの分野横断的な研究開発を推進する。
			ゴノム・データ基盤の整備・利活用を促進し、ライフステージを俯瞰した疾患の発症・重症化予防、診断、治療等に資する研究開発推進することによって「医療の実現」に貢献する。	①科学記述に論文が掲載された研究成果数（薬種）（目標値：250件（2023年度）） ②新たな低分子量遺伝子・薬剤関連遺伝子の同定数（薬種）（目標値：7件（2023年度））	⑧R3年度：117件、R4年度：342件、R5年度：235件（累計） ⑨R3年度：16件、R4年度：29件、R5年度：3件（累計）	AMED調べ AMED調べ	- ゴノム基盤実用化イニシアチブ活用プログラム（B-core）（予算案ID：006844） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	ゴノム基盤実用化イニシアチブ活用プログラム（B-core）等を通じて、ゴノム・データ基盤を整備・利活用を促進し、ライフステージを俯瞰した疾患の発症・重症化予防、診断、治療等に資する研究開発を推進することによって「医療の実現」を推進する。
			医療分野の研究開発への応用を促進し、脳機能、免疫、老化等の生命科学の発展研究や、様々な疾患を対象とした疾患メカニズムの解明等に貢献する。	①科学記述に論文が掲載された研究成果数（目標値：463件（2023年度）） ②シースの論文件数（目標値：12件（2023年度））	⑧R3年度：1326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 脳神経科学統合プログラム（予算案ID：006838） - 新薬・再生医療促進研究基盤創生事業（予算案ID：006845） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	脳神経科学統合プログラム、新薬・再生医療促進研究基盤創生事業等を通じて、医療分野の研究開発への応用を促進し、脳機能、免疫、老化等の生命科学の発展研究や、様々な疾患を対象とした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発を行う。
9-3、健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応		9-3-3	「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
9-4、安全・安心の確保に関する課題への対応		9-3-4	「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
9-5、健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応		9-3-5	「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
9-6、健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応		9-3-6	「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（2023年度）） ②治療関連件数のうち医師主導型数（目標値：34件（2023年度））	⑧R3年度：1,326件、R4年度1501件、R5年度1770件 ⑨R3年度：37件、R4年度：29件、R5年度：32件	AMED調べ AMED調べ	- 医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業（予算案ID：006840） - 健康・医療研究開発データ統合活用プラットフォーム事業（予算案ID：006849） - ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム（予算案ID：006847） - 国立研究開発法人日本医政局研究開発推進委員会交付金に必要な経費（予算案ID：001691）	医療分野研究開発科学技術共同研究開発推進事業、健康・医療プログラム、革新的研究開発支援事業、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等を通じて、アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究を推進する。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や仕組みを整備するとともに、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進の構築を推進する。
			「アカデミア」の組織、分野の枠を超えた研究体制の構築を促進し、新薬やデジタルの創出に向けた国際的なシーズの創出・育成等の基礎的研究・国際共同研究の体制に力を入れる。また、健康と研究開発拠点において、シーズの発掘・移転や「育みの環境」提供・治療の高度化のための体制や比較的な研究を推進し、リソース・トランスラショナル・リサーチや実証研究推進を推進する。	①機関連手支援拠点で支援しているシーズ数（目標値：418件（				

[illegible]